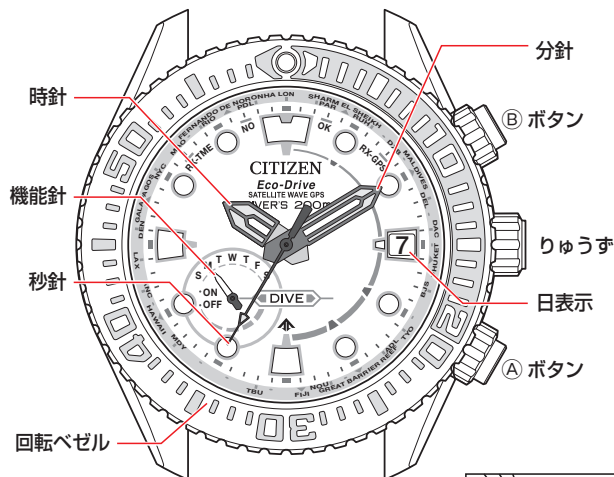


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 操作の際は、時計がぬれていないことを確認してから、操作してください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/f158/f158.html>

各部の名称

針とボタン

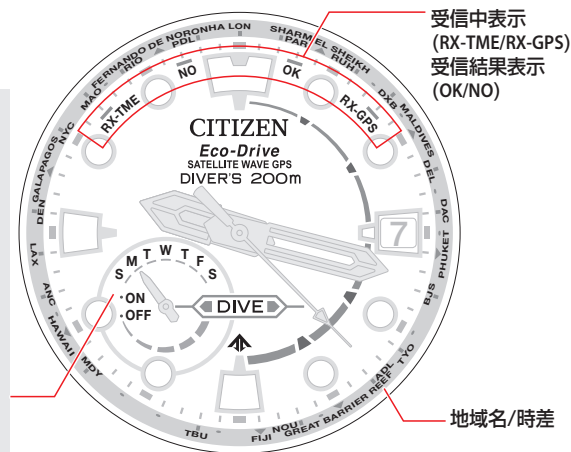


- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずの引き出し位置は2段階あります。

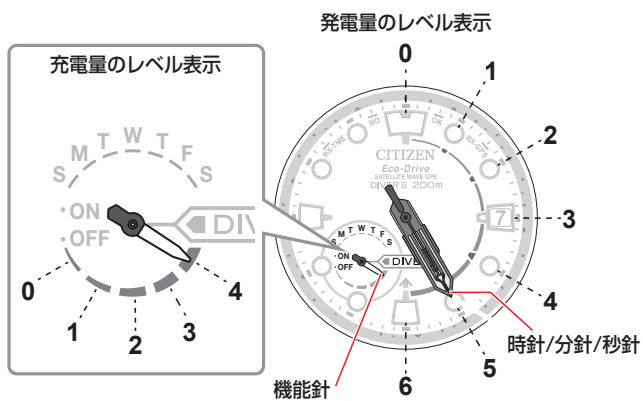


表示

S/M/T/W/T/F/S:
曜表示
充電量表示
(5段階)
ON/OFF:
サマータイム設
定
DIVE:
ダイブモード



現在の充電量と発電量を確認する



- 1 りゅうずの位置を0にする
- 2 ②ボタンを押す
ボタンを押した時点の充電量と発電量がレベル表示されます。

• 充電量レベル(機能針)

レベル	4	3	2	1	0
表示	左図の「充電量のレベル表示」をご覧ください。				
持続時間	2年～ 1年7ヵ月	1年7ヵ月～ 1年2ヵ月	1年2ヵ月～ 5ヵ月	5ヵ月～5日	5日以下
意味	十分充電されています		充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まっています。
	安心してお使いいただけるレベルです。				すぐに充電してください。

• 発電量レベル(時計/分針/秒針)

レベル	6	5	4	3	2	1	0
表示	左図の「発電量のレベル表示」をご覧ください。						
意味	発電量は、充電に 適しています。		発電量レベルが「5」または「6」になるような、よ り明るい場所で充電してください。				

3 ②ボタンを押して、終了する

現在時刻の表示に戻ります。

- ボタンを押さなくても、およそ10秒すると自動で現在時刻の表示に戻ります。


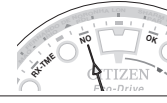


衛星電波の受信結果を確認する

1 リューズの位置を①にする

2 ③ボタンを押す

前回の受信結果が表示されます。

OK		受信に成功しました。
NO		受信に失敗しました。

・受信結果では、位置情報の取得/時刻情報の取得の区別をしません。

3 ③ボタンを押して、終了する

現在時刻の表示に戻ります。

・ボタンを押さなくても、およそ10秒すると自動で現在時刻の表示に戻ります。

手動でワールドタイムを設定する

この時計は、UTC(協定世界時)基準の38の時差を設定することで、世界の各地域の時刻を表示させることができます。

1 リューズの位置を①にする

秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定を指します。

2 リューズを回して、時差を設定する

時刻表示が切り替わります。

3 リューズの位置を①にして、終了する

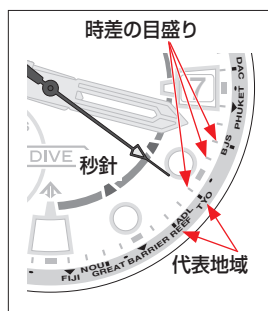
秒針が、秒表示に戻ります。

時差の設定の見かた

時計上には、時差の目盛りが38あり、その一部に代表地域が表記されています。時差の設定は、秒針をこれらに合わせることで行います。

右の図では、秒針が21秒を指していて、時差の設定は「+9」になっています。

・時差は、UTC基準です。



時差と代表地域について

(2019年9月現在)

時差	秒針	表記	代表地域
0	0秒	LON	ロンドン
+1	2秒	PAR	パリ
+2	4秒	SHARM EL SHEIKH/SSH	シャルム・エル・シェイク、アテネ
+3	6秒	RUH	リヤド
+3.5	7秒	—	テヘラン
+4	8秒	DXB	ドバイ
+4.5	9秒	—	カブール
+5	10秒	MALDIVES/MLE	モルディブ、カラチ
+5.5	12秒	DEL	デリー
+5.75	13秒	—	カトマンズ
+6	14秒	DAC	ダッカ
+6.5	15秒	—	ヤンゴン
+7	16秒	PHUKET/HKT	プーケット、バンコク
+8	18秒	BJS	北京
+8.75	20秒	—	ユークラ
+9	21秒	TYO	東京
+9.5	23秒	ADL	アデレード
+10	25秒	GREAT BARRIER REEF/—	グレート・バリア・リーフ、シドニー
+10.5	26秒	—	ロード・ハウ島
+11	27秒	NOU	ヌーメア
+12	29秒	FIJI/NAN	フィジー諸島、オークランド
+12.75	31秒	—	チャタム諸島
+13	32秒	TBU	ヌクアロファ
+14	34秒	—	クリスマス島
-12	36秒	—	ペーカー島
-11	38秒	MDY	ミッドウェイ諸島
-10	40秒	HAWAII/HNL	ハワイ諸島、ホノルル
-9.5	41秒	—	マルケサス諸島
-9	42秒	ANC	アンカレジ
-8	44秒	LAX	ロサンゼルス
-7	46秒	DEN	デンバー
-6	48秒	GALAPAGOS/SCY	ガラパゴス諸島、シカゴ
-5	50秒	NYC	ニューヨーク
-4	52秒	MAO	マナウス
-3.5	53秒	—	セント・ジョンズ
-3	54秒	RIO	リオデジャネイロ
-2	56秒	FERNANDO DE NORONHA/FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
-1	58秒	PDL	アゾレス諸島

衛星電波を受信する

- 受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、いずれかのボタンを押し続けます。

位置情報を取得する

自動で時差を設定し、時刻/カレンダー合わせを行います。

- 位置情報の取得には、30秒～2分かかります。

1 りゅうずの位置を①にする

2 秒針が「RX-GPS」を指すまで、②ボタンを4秒間押し続ける

- 秒針が「RX-GPS」を指したら、ボタンを離します。受信が始まります。
- 受信が終わると、秒針がワールドタイム設定または受信結果の「NO」を指し、秒表示に戻ります。

時刻受信

- 時刻受信には、3～30秒かかります。

1 りゅうずの位置を①にする

2 秒針が「RX-TME」を指すまで、③ボタンを2秒間押し続ける

- 秒針が「RX-TME」を指したら、ボタンを離します。受信が始まります。
- 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

うるう秒受信

- うるう秒受信には、36秒～13分かかります。

1 りゅうずの位置を①にする

2 ④ボタンを7秒間押し続ける

- 秒針が一度「RX-TME」を指してから、一回転し再び「RX-TME」を指したら、ボタンを離します。受信が始まります。
- 受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

サマータイムと標準時刻を切り替える

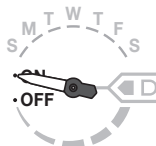
1 りゅうずの位置を①にする

秒針が現在のワールドタイム設定を指し、機能針がサマータイム設定を指します。

- りゅうずを回すと、時差の設定が切り替わります。

2 ④ボタンを押す

ON	サマータイムが表示されます。
OFF	標準時刻が表示されます。



- ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

3 りゅうずの位置を②にして、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

ダイブモードを使う

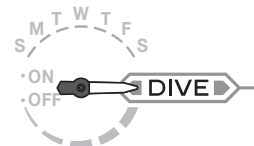
時計をダイブモードにすると、ボタンの誤操作を防いだり、受信機能をオフにすることができます。

1 りゅうずの位置を②にする

2 ④ボタンと⑤ボタンを同時に押す

時刻が一時的に0:00:00になった後、機能針が「DIVE」を指し、時計がダイブモードになります。

- 時計の針が止まっているときは、ダイブモードを解除し、再度行ってください。



ダイブモードを解除するときは

④ボタンと⑤ボタンを同時に押すと、ダイブモードは解除されます。

- りゅうずの位置を変更しても、ダイブモードは解除されます。

うるう秒の設定を確認・修正する

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

<http://jijy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

1 りゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

2 ⑥ボタンを2秒間以上押す

秒針と分針が「0分0秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「-37秒」のとき	うるう秒の設定が「-65秒」のとき
「0分37秒」を指します。	「1分5秒」を指します。

3 うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する

- 修正できる範囲は、0秒から-90秒です。

4 りゅうずの位置を②にして、終了する

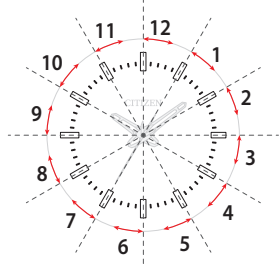


時刻とカレンダーを手動で合わせる

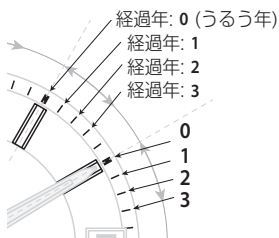
・あらかじめ、「手動でワールドタイムを設定する」でワールドタイムの設定を行ってください。

- 1 りゅうずの位置を①にする
- 2 秒針が30秒を指すまで、②ボタンを押し続ける
- 3 りゅうずの位置を②にする
秒針が0秒を指します。
- 4 ④ボタンをくり返し押し、合わせる針/表示を選ぶ
 - ・④ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
分 → 時 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
 - ・針/表示は、少し動いて合わせる対象になったことをお知らせします。
- 5 りゅうずを回して、針/表示を合わせる
 - ・日表示は、機能表示が5回転すると切り替わります。
 - ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
 - ・年と月は、秒針で表示されます。

月は、下図に示した範囲で示されます。
各数字が月に対応します。



年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

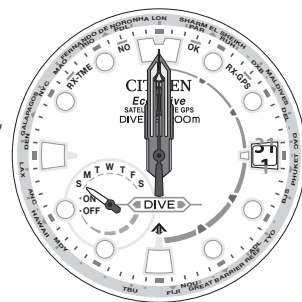


・うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

- 6 手順4と5をくり返す
- 7 時報に合わせ、りゅうずの位置を③にして、終了する
秒針が0秒から動き出します。

基準位置を確認する

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 ④ボタンを4秒間押し続ける
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
 - ・針が動き出したらボタンを離します。
 - ・針位置補正のために、針が特殊な動きをします。
- 3 基準位置を確認する
正しい基準位置は次のとおりです。
 - ・時針/分針/秒針: 0時00分0秒
 - ・日表示: 「31」と「1」の間
 - ・機能針: 「S」(日曜日)



基準位置がずれているときは、次の「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

- 4 りゅうずの位置を③にして、終了する

基準位置を修正する

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 ④ボタンを4秒間押し続ける
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
 - ・針が動き出したらボタンを離します。
 - ・針位置補正のために、針が特殊な動きをします。
- 3 ④ボタンを押す
機能針が少し動きます。
- 4 ④ボタンをくり返し押し、修正する針/表示を選ぶ
 - ・④ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
日表示/機能針 → 時針 → 分針 → 秒針 → (始めに戻る)
 - ・針は、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 5 りゅうずを回して、針/表示を修正する
 - ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 6 手順4と5をくり返す
- 7 りゅうずの位置を③にする
- 8 ④ボタンを押して、終了する
 - ・約2分間何も操作をしないと、時刻表示に戻ります。

オールリセットする

- 1 りゅうずの位置を②にする
- 2 ④ボタンと③ボタンを同時に3秒間以上押し、離す
ボタンから手を離すと、各針が動き、リセットが行われたことをお知らせします。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の1月(5秒の位置)
ワールドタイム	時差0 (LON)、ロンドン
サマータイム	全ての地域で、OFF
うるう秒	
ロールオーバー数	オールリセットしても変更されません。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正と時刻/カレンダー合わせを行ってください。

